

正誤表 (2024 年 10 月現在)

『公認心理師・臨床心理士大学院対策 鉄則 10&キーワード 30 心理統計編 第2版』
におきまして以下の誤記載がありました。お詫び申し上げます。なお、お手元の書籍の刷数
によっては、訂正済みの場合がございます。ご了承ください。

ページ番号の後ろの数字 (2024/○/△) は更新日です。

p.56 (2024/10/10) 第1段落

(誤) 同様に、学習法1の女性の中央値を求めると 6.5、学習法2の女性の中央値を求めると 9.5 となります。

(正) 同様に、介入法Yの実施前の中央値を求めると 15、介入法Yの実施後の中央値を求めると 17 となります。

p.58 (2024/10/10) 表2の平均値の下に、以下の標準偏差の値を追記します

	介入法 X		介入法 Y	
	前	後	前	後
平均値	6.9	9.4	5.3	6.5
標準偏差	0.70	0.66	1.10	1.03

p.75 (2024/10/10) 5行目

(誤)「否定的評価を恐れることにより(原因)、回避行動や不安感が引き起こされる(結果)」

(正) インターネットを頻繁に利用することにより(原因)、他者を軽視するようになる(結果)

p.88 (2024/10/10) 下から 4 行目

(誤) よって、例題 5 の (正) よって、例題 6 の

p.94 (2024/10/10) 下から 5, 6 行目

(誤) …算出します。次ページの図 2 のように算出すると、その確率は 6.25% となります¹。

(正) …算出します。今回は問題文に示されている通り、その確率は 6.25% です。この確率は、次ページの図 2 のように求めることができます¹。

p127 (2024/10/10) 下から 3 行目

(誤) 性差の F 値も (正) 介入法の F 値も